

# 宇都宮短期大学人間福祉学科履修細則

## (目的)

第1条 本細則は、学則第2章（履修方法、単位算定、課程修了の認定及び学習の評価）の第11条第5項の規定に基づき、履修方法等の取り扱いについて定めることを目的とする。

## (履修方法)

第2条 学生は当該年度始めに、履修する科目の届を所定の期日までに提出しなければならない。

- 2 届け出をした科目以外の科目、同一時間に2科目以上の聴講及びすでに合格した科目を履修することはできない。
- 3 下級年次に配当された科目は、単位を取得していない科目に限って、自由に履修することができる。
- 4 一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を49単位とする。ただし、社会福祉士もしくは介護福祉士資格取得のための指定科目を履修するものは、この上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

## (単位の算定)

第3条 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じて次の基準により単位を算定する。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
  - 二 実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 各授業科目の時間数（単位数）及び授業形態は、別表1のとおりとする。

## (単位の授与)

第4条 定期試験（学期末または学年末）に合格した場合は、当該科目の単位を修得したものと認める。

## (受験資格)

第5条 次に該当する場合は、定期試験の受験資格は与えられない。

- 一 「履修届」を提出していない科目。
- 二 やむを得ない事情（傷病、災害等）で試験を受けることができない場合の「欠席届」及び「公欠届」（医師の診断書等の証明書付）が未提出の者。
- 三 授業料を所定の日までに納入していない者。ただし、「延納願」提出者は除く。

(成績の評価)

第6条 成績表示は5段階とし、S・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。

表 示	S	A	B	C	D
評 点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下

(追・再試験)

第7条 第5条に該当しない者に限り、願出によって追試験を行う。また、不合格となった科目については再試験を行うこともある。

2 追・再試験を受験する者は、「受験願」に所定の受験料を添えて事務局まで提出する(ただし、公欠による追試験願いの場合には受験料は必要ない)。

(卒業単位)

第8条 卒業単位として2年間(在学可能年数は4年間)で、合計62単位以上を修得しなければならない。

一 社会福祉専攻は、「人間と生活を理解するための基礎教育科目」より10単位以上を必修とする。

介護福祉専攻は、「人間と生活を理解するための基礎教育科目」より8単位以上を必修とする。

二 社会福祉専攻は、「福祉の基礎を理解するための専門教育科目(必修)」より18単位を必修とする。

介護福祉専攻は「福祉の基礎を理解するための専門教育科目(必修)」より16単位を必修とする。

三 社会福祉専攻は、「福祉の基礎を理解するための専門教育科目(選択)」及び「福祉を豊かに実践するための専門教育科目」の中から34単位以上を必修とする。

介護福祉専攻は、「福祉の基礎を理解するための専門教育科目(選択)」及び「福祉を豊かに実践するための専門教育科目」より38単位以上を必修とする。

(授業関連)

第9条 社会福祉主事任用資格、社会福祉士国家試験受験資格(実務経験2年を除く。)

又は、介護福祉士国家試験受験資格を取得する場合は、別に定める科目を履修しなければならない。

2 社会福祉専攻及び介護福祉専攻で別に定める履修制限科目は、当該専攻に所属する学生以外(聴講生・科目等履修生も含む)は、科目履修を認めない。

(その他)

第10条 本細則に定めのないものについては、本学学則を準用する。

附則

この細則は、平成14年4月1日から施行する。

平成15年4月1日 一部改正

平成 16 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 19 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 21 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 22 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 23 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 24 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 26 年 4 月 1 日 一部改正  
平成 28 年 4 月 1 日 一部改正

社会福祉専攻

科目番号	区分	科目名	講義区分	時間数	単位数	配当年次		卒業要件	社会福祉士モデル	医療事務モデル
						学年	学期			
sa280101	人間と生活を理解するための基礎教育科目	全人教育講座	講・演	30	1	1	前	必修	10単位以上を修得すること。 (ただし「全人教育講座」は必修)	10単位以上を修得すること。 (ただし「全人教育講座」は必修)
sa280102		心理学	講義	30	2	1	後	選必		
sa280103		社会学	講義	30	2	2	後	選必		
sa280104		法学	講義	30	2	2	前	選必		
sa280105		経済学	講義	30	2	2	前	選必		
sa280106		生活科学	講義	30	2	1	後	選必		
sa280107		生活技術	演習	30	1	1	後	選必		
sa280108		英語Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必		
sa280109		英語Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必		
sa280110		情報処理Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必		
sa280111		情報処理Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必		
sa280112		食と暮らし	講義	30	2	1	後	選必		
sa280113		歴史学	講義	30	2	1	前	選必		
sa280114		キャリアデザイン	演習	30	1	1	前	選必		
sa280115		音楽	演習	30	1	2	後	選必		
sa280116		海外研修	演習	30	1	1.2	後	選必		
		小計			23					
sb280101	福祉の基礎を理解するための専門教育科目	社会保障	講義	60	4	2	通	必修	18単位を修得すること。	18単位を修得すること。
sb280102		高齢者福祉	講義	30	2	1	後	必修		
sb280103		医学一般	講義	30	2	1	前	必修		
sb280104		現代社会と福祉	講義	60	4	1	通	必修		
sb280105		障害者福祉	講義	30	2	1	後	必修		
sb280106		社会調査	講義	30	2	2	後	必修		
sb280107		保健医療サービス	講義	30	2	2	前	必修		
		小計			18					
sb280108	福祉の基礎を理解するための専門教育科目(選択)	相談援助の基盤と専門職	講義	60	4	1	前	選必	34単位以上を修得すること。	福祉の基礎を理解するための専門教育科目(選択)を39単位修得すること。
sb280109		地域福祉の理論と方法	講義	30	4	2	通	選必		
sb280110		介護の基本	講義	30	2	1	前	選必		
sb280111		児童・家庭福祉	講義	30	2	1	後	選必		
sb280112		相談援助の理論と方法Ⅰ	講義	60	4	1	後	選必		
sb280113		相談援助の理論と方法Ⅱ	講義	60	4	2	通	選必		
sb280114		相談援助演習Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必		
sb280115		相談援助演習Ⅱ	演習	30	1	1	前	選必		
sb280116		相談援助演習Ⅲ	演習	30	1	1	後	選必		
sb280117		相談援助演習Ⅳ	演習	30	1	2	前	選必		
sb280118		相談援助演習Ⅴ	演習	30	1	2	後	選必		
sb280119		相談援助実習	実習	180	4	1.2	後	選必		
sb280120		相談援助実習指導	演習	45	3	1.2	通	選必		
sb280121		福祉行財政と福祉計画	講義	30	2	2	前	選必		
sb280122		生活保護制度	講義	30	2	2	前	選必		
sb280123		社会福祉運営管理	講義	30	2	2	前	選必		
sb280124		就労支援サービス	講義	15	1	2	後	選必		
sb280125	更生保護制度	講義	15	1	2	後	選必			

科目番号	区分	科目名	講義区分	時間数	単位数	配当年次		卒業要件	社会福祉士 モデル	医療事務 モデル	
						学年	学期				
sb280126		権利擁護と成年後見制度	講義	30	2	2	後	選必	必選	と。	選必
		小計			42						
sc280101	福祉を豊かに実践するための専門教育科目	社会福祉演習Ⅰ	演習	60	2	1	通	選必	選択		選必
sc280102		社会福祉演習Ⅱ	演習	60	2	2	通	選必	選択		選必
sc280103		社会福祉演習Ⅲ	演習	30	1	2	後	選必	選択		履修不可
sc280104		レクリエーション概論	講義	30	2	1	前	選必	選択		選必
sc280105		レクリエーション演習	演習	60	2	1	通	選必	選択		選必
sc280106		福祉レクリエーション論	講義	30	2	1	後	選必	選択		選必
sc280107		福祉レクリエーション援助論	講義	30	2	2	前	選必	選択		選必
sc280108		福祉レクリエーション援助技術	演習	60	2	2	通	選必	選択		選必
sc280109		野外活動Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必	選択		選必
sc280110		野外活動Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必	選択		選必
sc280111		人間関係論	講義	30	2	2	後	選必	選択		選必
sc280112		学校ソーシャルワーク	講義	30	2	2	後	選必	選択		選必
sc280113		ボランティア論	講義	15	1	2	前	選必	選択		選必
sc280114		NPOコミュニティビジネス論	講義	30	2	2	前	選必	選択		選必
sc280115		美容福祉Ⅰ	講義	30	2	1	後	選必	選択		選必
sc280116		美容福祉Ⅱ	演習	30	1	2	前	選必	選択		選必
sc280117		美容福祉Ⅲ	演習	30	1	2	前	選必	選択		選必
sd280101		医療事務総論	講義	30	2	1	前	選必	選択		必修
sd280102		医療事務実践演習	演習	30	1	2	前	選必	選択		必修
sd280103		医療事務関連法規Ⅰ	講義	30	2	1	後	選必	選択		必修
sd280104		医療事務関連法規Ⅱ	講義	30	2	1	後	選必	選択		必修
sd280105		医療事務作業実践演習Ⅰ	演習	30	1	2	前	選必	選択		必修
sd280106		医療事務作業実践演習Ⅱ	演習	30	1	2	前	選必	選択		必修
sd280107		医療秘書	講義	30	2	1	前	選必	選択		必修
sd280108		医療秘書実践演習Ⅰ	演習	30	1	1	後	選必	選択		必修
sd280109		医療秘書実践演習Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必	選択		必修
sd280110		医療事務コンピュータ処理演習	演習	30	1	2	後	選必	選択		選必
sd280111		薬学一般	講義	15	1	1	後	選必	選択		必修
sd280112	医療事務実習（事前事後指導含む）	実習	90	2	2	前	選必	選択		選必	
		小計			45						

介護福祉専攻

科目番号	区分	科目名	講義区分	時間数	単位数	配当年次		卒業要件	介護福祉士モデル		
						学年	学期		必修	選必修	
ka280101	人間と生活を理解するための基礎教育科目	全人教育講座	講・演	30	1	1	前	必修	必修	8単位以上を修得すること。 (ただし「全人教育講座」は必修)	
ka280102		社会学	講義	30	2	2	後	選必修	選必修		
ka280103		法学	講義	30	2	1	前	選必修	選必修		
ka280104		経済学	講義	30	2	2	前	選必修	選必修		
ka280105		生活科学	講義	30	2	1	後	選必修	選必修		
ka280106		生活技術	演習	30	1	1	後	選必修	選必修		
ka280107		英語Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必修	選必修		
ka280108		英語Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必修	選必修		
ka280109		情報処理Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必修	選必修		
ka280110		情報処理Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必修	選必修		
ka280111		食と暮らし	講義	30	2	1	後	選必修	選必修		
ka280112		歴史学	講義	30	2	1	前	選必修	選必修		
ka280113		キャリアデザイン	演習	30	1	1	前	選必修	選必修		
ka280114		海外研修	演習	30	1	1・2	後	選必修	選必修		
		小計			20						
kb280101	福祉の基礎を理解するための専門教育科目(必修)	人間の尊厳と自立	講義	30	2	1	前	必修	必修	16単位修得すること。	
kb280102		人間関係とコミュニケーション	講・演	30	1	2	前	必修	必修		
kb280103		生活と福祉	講義	30	2	1	後	必修	必修		
kb280104		社会保障	講義	30	2	1	後	必修	必修		
kb280105		介護の基本Ⅰ	講・演	30	1	1	前	必修	必修		
kb280106		介護の基本Ⅱ	講・演	30	1	1	後	必修	必修		
kb280107		発達と老化の理解Ⅰ	講義	30	2	1	前	必修	必修		
kb280108		発達と老化の理解Ⅱ	講義	30	2	1	後	必修	必修		
kb280109		生活支援の基礎	演習	30	1	1	前	必修	必修		
kb280110		家庭生活の知識	演習	30	1	1	後	必修	必修		
kb280111		楽しみ・家事生活	演習	30	1	2	前	必修	必修		
		小計			16						
kb280112	福祉の基礎を理解するための専門教育科目(選択)	認知症の理解Ⅰ	講・演	30	1	2	前	選必修	必修	38単位以上を修得すること。	
kb280113		認知症の理解Ⅱ	講・演	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280114		障害の理解Ⅰ	講・演	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280115		障害の理解Ⅱ	講・演	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280116		こころとからだのしくみⅠ	講・演	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280117		こころとからだのしくみⅡ	講・演	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280118		こころとからだのしくみⅢ	講・演	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280119		こころとからだのしくみⅣ	講・演	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280120		介護の基本Ⅲ	講・演	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280121		介護の基本Ⅳ	講・演	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280122		介護の基本Ⅴ	講・演	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280123		介護の基本Ⅵ	講・演	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280124		コミュニケーション技術Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280125		コミュニケーション技術Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280126		住環境の設営と移動	演習	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280127		食事・排泄・清潔	演習	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280128		安楽・安寧・身だしなみ	演習	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280129		栄養・調理	演習	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280130		睡眠・緊急時・終末期	演習	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280131		生活経営・環境	演習	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280132		リハビリテーション	演習	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280133		医療的ケアⅠ	講・演	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280134		医療的ケアⅡ	講・演	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280135		医療的ケアⅢ	演習	30	1	2	前	選必修	必修		
			小計			24					
kb280136		介護過程Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必修	必修		介護実習未履修者は介護総合演習を履修できない
kb280137		介護過程Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280138		介護過程Ⅲ	演習	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280139		介護過程Ⅳ	演習	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280140		介護過程Ⅴ	演習	30	1	2	後	選必修	必修		
kb280141		介護総合演習Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必修	必修		
kb280142		介護総合演習Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必修	必修		
kb280143		介護総合演習Ⅲ	演習	30	1	2	前	選必修	必修		
kb280144		介護総合演習Ⅳ	演習	30	1	2	後	選必修	必修		

科目番号	区分	科目名	講義区分	時間数	単位数	配当年次		卒業要件	介護福祉士 モデル	
						学年	学期			
kb280145		介護実習	実習	450	10	1 2	後 通	選必	い程・	必修
		小計			19					
kc280101	福祉を豊かに実践するための専門教育科目	レクリエーション概論	講義	30	2	1	前	選必		選択
kc280102		レクリエーション演習	演習	60	2	1	通	選必		選択
kc280103		福祉レクリエーション論	講義	30	2	1	後	選必		選択
kc280104		福祉レクリエーション援助論	講義	30	2	2	前	選必		選択
kc280105		福祉レクリエーション援助技術	演習	60	2	2	通	選必		選択
kc280106		野外活動Ⅰ	演習	30	1	1	前	選必		選択
kc280107		野外活動Ⅱ	演習	30	1	1	後	選必		選択
kc280108		介護福祉特別演習Ⅰ	演習	30	1	2	前	選必		必修
kc280109		介護福祉特別演習Ⅱ	演習	30	1	2	後	選必		必修
kc280110		手話・点字	演習	30	1	2	後	選必		選択
kc280111		美容福祉Ⅰ	講義	30	2	1	後	選必		選択
kc280112		美容福祉Ⅱ	演習	30	1	2	前	選必		選択
kc280113		美容福祉Ⅲ	演習	30	1	2	前	選必		選択
kc280114		服飾コーディネート演習	演習	30	1	2	前	選必		選択
kc280115		生活手工芸	演習	30	1	2	後	選必		選択
		小計			21					

# 宇都宮短期大学人間福祉学科試験細則

## (目的)

第1条 この細則は、宇都宮短期大学学則と人間福祉学科履修細則に従い、試験について必要な事項を定めたものである。

## (試験の意義と方法)

第2条 試験は、授業科目の単位認定にあたって必ず行わなければならない。

2 試験とは、履修した科目についての到達度を判定するための方法であり、筆記、論文、レポート、実技等によって行う。

## (試験の種類)

第3条 試験には、定期試験・追試験・再試験・平常の授業時間中の試験がある。

- 一 定期試験とは、学事暦で定められた日程で行う試験で、中間試験・第1期終了試験・学年末試験に分ける。中間試験・第1期終了試験・学年末試験は、学事暦の定めるところに従う。
- 二 追試験とは、病気、交通機関の障害等やむを得ない理由のため、定期試験を受験できなかった者に対して行う試験である。
- 三 再試験とは、定期試験または追試験において不合格になった者のうち、授業科目担当教員が許可した者に対して行う試験である。ただし、再試験は同一科目につき2回までとする。
- 四 平常の授業時間中にする試験とは、学期の途中において授業科目担当教員が随時行う試験である。

## (定期試験の方法)

第4条 定期試験の実施については、次の号による。

- 一 定期試験実施科目、その方法、日時及び教室は試験開始日より2週間前に発表する。
- 二 試験監督には、当該授業科目担当教員が、その教員に支障がある時は他の専任教員があたり、監督補助の必要がある時は専任教員と事務職員があたる。
- 三 試験を受ける者は、監督及び監督補助の指示に従わなければならない。
- 四 試験時間は、原則として60分とする。ただし、試験監督の指示ある場合は、この限りではない。
- 五 試験開始後20分を超えて遅刻した者は、その試験を受けることができない。
- 六 写真を貼付した当該年度の学生証を所持しない者は、その試験を受けることができない。ただし、所定の手続きを終えて仮学生証を交付された者はこの限りではない。
- 七 試験開始30分を経過しなければ退場できない。ただし、試験監督の指示ある場合は、この限りではない。
- 八 問題・解答用紙は必ず提出する。持ち帰った場合は不正行為とみなす。ただし、試験監督の指示ある場合は、この限りではない。



- 九 持ち込みを許可されているもの以外の物を持ち込んだ場合は、不正行為とみなす。
- 十 会場で携帯電話等の使用は認めない。

(追試験の方法)

第5条 追試験の実施については、次の号による。

- 一 追試験の受験を希望する者は理由書を添えて、所定の願書を指定された期間内に事務局に提出しなければならない。
- 二 前号の理由書とは、定期試験を受験できなかった理由が病気の場合は診断書、交通機関の事故の場合は関係当局の事故証明書等、やむを得ない事情を公に証明する書類である。
- 三 追試験のその他の実施方法は前条に準ずる。

(再試験の方法)

第6条 再試験の実施については、次の各号による。

- 一 再試験の受験を許可された者は、所定の受験料を納入後、受験申込書を期間内に事務局に提出しなければならない。
- 二 再試験のその他の実施方法は、第4条に準ずる。

(不正行為への処置)

第7条 各試験における不正行為の処置は、別に定める不正受験の処罰による規定による。

(追試験・再試験の成績評価)

第8条 追試験の成績評価は得点の8割とする。再試験の成績評価はC(60点)及びD(60点未満)のみとする。ただし、公欠届による追試験の評価はこの限りではない。

(緊急時の対応)

第9条 本細則に定める試験の実施において、天変地異やその他の緊急事態が発生したときの同試験の取り扱いについては別に定める。

## 附則

本細則は平成14年4月1日より施行する。

平成15年4月1日 一部改正。

平成19年4月1日 一部改正。